

令和元年度 依存症民間団体支援事業報告

団体名 NPO 法人全国ギャンブル依存症家族の会

事業名 家族会および当事者ミーティング立ち上げ事業

<活動内容の概要>

私たち「NPO法人全国ギャンブル依存症家族の会」は、ギャンブル依存症に苦しむ家族の声に耳を傾け、気持ちに寄り添いながら、正しい対処法を伝えてきめ細かく支援する活動をしてきました。

私たちの強みは、自身が「ギャンブル依存症に苦しむ家族」であり、乗り越えてきた経験をもっていることです。その経験を元に、今まさに苦しんでいる家族を支援するとともに、ギャンブル依存症の当事者を回復資源につなげる活動も行ってきました。

このように互いに助け合う「家族会」は地域における回復支援の受け皿として重要な役割を担っています。しかし、家族会があるのは東京都、大阪府など全国19都市のみであり（2019年度時点）、自助グループの活動が活発なところに偏っていました。

そこで本支援事業の委託を受け、自助グループなどが少ない地域で「家族会立ち上げ事業」を行うこととしました。関東や関西のメンバーが月1回出向き、各地で家族会を運営し、事業終了後は現地のメンバーが自立して開催することをめざしました。

将来的には、全国47都道府県すべてに家族会が立ち上がることを目標としています。

またギャンブル依存症当事者への支援として「デモミーティング」も実施しました。

●2018年度に引き続き、2019年度も同じ地域で「家族会立ち上げ」を実施

2018年度にも本支援事業の委託を受けており、岡山県（中国地方）、鳥取県（山陰地方）、青森県（東北地方）で「家族会立ち上げ事業」を行った結果、岡山と青森では地元メンバーによる家族会が立ち上がりました。運営が徐々に軌道にのってきていたことから、2019年度は継続して、同じ地域で「立ち上げ支援」を行うこととしました。

<事業の成果>

【事業内容】

① 家族会の立ち上げ・運営の支援

現地のメンバーに、正しい知識や対処法を共有し、自立的に家族会を運営できるように引き続きサポートしました。また新しい参加者の相談にきめ細かく対応しました。

② 家族のための自助グループ（ギャマノン）の立ち上げ支援

本年度は自助グループの「デモミーティング」も行い、立ち上げ支援しました。

自助グループのプログラムは、家族が苦しみから解放されるために必要不可欠です。

③ 当事者自助グループ（GA）の立ち上げ支援

2018年度の事業により、各地域には当事者がつながる回復支援先が少ないという問題点が浮かび上がりました。そこで2019度は関東や関西から回復した当事者が出向き、苦しんでいる当事者の相談にのり、経験を伝え、回復へのアドバイスをを行うとともに自助グループの「デモミーティング」を行い、GAの立ち上げを支援しました。

④ 「ギャンブル依存症啓発セミナー」を実施

ギャンブル依存症の正しい知識をお伝えするとともに、苦しんでいる家族や当事者がつながるきっかけをつくりました。地域で依存症問題に取り組まれている精神科の先生に講演していただき、今後の連携もお願いしました。薬物依存から回復された俳優の高知東生さんや、ギャンブル依存症から回復された当事者に、回復まで道のりをお話しいただきました。

⑤ 地域の関連機関との連携体制づくり

地元の支援者の方々に本事業を広報し、困っているご家族や当事者の方をつなげていただくことを依頼しました。

岡山県	岡山市 家族会	2019年8月、9月、11月、12月、2020年1月、2月	(6回)
	当事者の会	2019年11月、12月、2020年1月、2月	(4回)
	倉敷市 家族会	2019年10月、2020年3月	(2回)
	当事者の会	2020年3月	(1回)
ギャンブル依存症セミナー 2019年11月10日(日)岡山市にて 講演：岡山県精神科医療センター 臨床研究部 宋龍平先生 ほか			
鳥取県	鳥取市 家族会	2019年8月、9月、10月、11月、12月、2020年1月、2月、3月	(8回)
	当事者の会	2019年11月、12月、2020年1月、2月、3月	(5回)
	米子市 家族会	2019年9月、12月、2020年1月、2月、3月	(5回)
	当事者の会	2020年1月	(1回)
ギャンブル依存症セミナー 2019年11月9日(土)鳥取市にて 講演：社会医療法人 明和会医療福祉センター 渡辺病院 副院長 山下陽三先生 ほか			
青森県	青森市 家族会	2019年8月、11月、12月、2020年2月、3月	(5回)
	当事者の会	2019年11月、12月、2020年2月、3月	(4回)
	八戸市 家族会	2019年9月、2020年1月	(2回)
	当事者の会	2020年1月	(1回)
	弘前市 家族会	2019年10月	(1回)
ギャンブル依存症セミナー 2019年11月23日(祝)青森市にて 講演：青森県立精神保健福祉センター 所長・精神科医 田中治先生 ほか			

【具体的な成果】

- 2020年度から、鳥取県米子市で「家族会」が立ち上がることになりました。
- 青森県青森市、岡山県岡山市では2018年度に引き続き「家族会」の継続が決定。
- ギャマノン立ち上げについては、鳥取県米子市、青森県青森市で2020年度中の立ち上げを検討中。岡山県岡山市で2018年度に立ち上がったギャマノンも順調に活動中。
- 2019年度より、鳥取県鳥取市で「GA」の活動が非公式ながら始まりました。
- 2020年度から、鳥取県米子市で「GA」が正式に立ち上がることになりました。
- 青森県青森市、岡山県岡山市では、既存のGAのメンバーと連携し、新しいメンバーをつないで、参加を促しました。

●「家族会」に参加されたことで生まれた変化

家族会では依存症への対処法として、具体的な「行動」をお伝えするようになっています。実行することで、家族の問題に強くとらわれなくなるなど、気持ちがラクになれるようでした。ご自分がラクになった経験をされたことにより、新しく家族会につながってくるご家族にも経験を分かち合うようになられました。家族同士で支え合う「家族会」の必要性を実感され、運営に携わってくださる方が生まれました。家族のための自助グループ「ギャマノン」のデモミーティングを体験することで、理解も深まり、12ステッププログラムを行って自分自身の回復に努めようとする人もいらっしゃいました。

●「当事者デモミーティング」に参加されたことで生まれた変化

初めて依存症関連の会に参加される方が多く、ギャンブル依存症の病気の知識をお伝えすることができました。回復した当事者と気持ちを分かち合うことや自助グループ「GA」のデモミーティングを体験することで、今後も回復につながる意欲をもっていただけたようでした。

ギャンブル依存症セミナー



